

令和5年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算審査特別委員会審査
報告（審査期間：令和5年3月9日～13日（3日間））

去る3月7日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「令和5年度伊仙町一般会計他5特別会計予算」が当委員会に付託されました。3月9日から13日までの3日間、本特別委員会において慎重に審議致しました。

まず、3月9日に行われた現地調査について、委員並びに議長を含む14名で、令和5年度当初予算に係る主な箇所について現地調査を行い、町長をはじめ担当課長並びに担当職員から詳細な説明を受けました。

調査場所は、現在工事が進められている役場新庁舎、上面縄集落出身である泉芳朗氏生家、公営住宅建設候補地として用地購入費が計上されている東目手久集落・上検福集落、令和4年度繰越事業となっている検福赤久団地、町道サクマ板割線の整備計画に伴う家屋等移転補償費として計上されている中伊仙西集落から西伊仙東集落、公営住宅建設事業として工事請負費が計上されている下向里団地、町内唯一の海水浴場である瀬田海浜公園までの全8か所の調査を行いましたので主な事項についてご報告と要望をいたします。

・新庁舎建築工事について、当初の計画より大幅に遅れてはいるものの、その後は着々と完成に向け工事が進められており、2月末時点での進捗率が41%との説明でありました。1期工事の工期である8月末には確実に工事が完了できるよう進めるとともに、事故等が起きないように安全第一に取り組まれるよう要望いたします。

・次に奄美群島復帰の父であり、本町名誉町民でもある泉芳朗氏生家について、親族をはじめ地元集落有志の方々の意向を汲み、今後は町管理のもと銅像の移転や敷地周辺、道路を含めた整備計画を行う必要があると思われれます。今年は奄美群島復帰70周年の節目でもあることから、本年を新たなスタートとして関係地権者や地元集落の方々と協議されるよう要望いたします。

・次に住宅整備計画に伴う公有財産購入費として計上された東目手久地区について、なくさみ館の隣接地であることから闘牛大会開催時には多くの観客が訪れるため、なくさみ館駐車場に入りきれなかった車はその周辺道路に路上駐車されているのが現状であり、地元住民にとっては大変不便に感じているのが実情であります。また、緊急時の救急車両や消防車両の通行の妨げとなる恐れがあることから、当該箇所については住宅建設のみでなく、なくさみ館併設の駐車場や子どもた

ちが遊べる公園等を含めた整備計画の検討をされるよう要望いたします。

・次に家屋等移転補償費にて計上されている町道サクマ板割線道路整備事業について、令和3年度から令和9年度にかけJA あまみ伊仙支所から旧徳之島農業高校までの約500mの改良工事を行う予定となっておりますが、次期計画となっている旧徳之島農業高校から西伊仙西集落児童館前までの約390mの区間も途切れることなくスムーズに改良工事が行えるよう関係地権者及び周辺住民との協議を進めるよう要望いたします。

・次に瀬田海海浜公園については、年間1,000人を超えるBBQ設備の利用者と町内唯一の海水浴場があることから毎年多くの観光客や地元住民で賑わう本町にとって大変重要なレジャー施設であります。

担当職員からの説明では、毎年7月に1回のみ水質検査を行っているとのことでありましたが、特にピーク時の夏休み期間などはこまめに検査を実施し、利用者の安全確保に努めるとともに現在海水の入れ替えを行っている取水口を拡張し、訪れる方々が常にきれいな海水で遊泳できるよう要望いたします。

次に3月10日から13日の2日間、本議事堂で実施された当初予算審査特別委員会の室内審査において、委員より指摘や要望のあった主な重点事項についてご報告致します。

まず、令和5年度一般会計予算の歳入について、

- ・歳入予算全体の12.6%が町税等を含む貴重な本町の自主財源であることから、現年度分の徴収強化と各種税滞納分については公平性の観点からも法的措置を含め十分な徴収対策に取り組まれること。

- ・市町村たばこ税の使途については税相当額を各種がん検診等の個人負担分に充当し、受診率向上に取り組むこと。

- ・農林水産業費分担金については、令和4年度以降の工事における農家負担金を畑総事業推進支援協議会が負担することにより減免されることとありますが、これについては不公平感が生じる可能性もあることから、農家からの苦情等が出ないようにしっかりと説明を行い対応すること。

- ・ふるさと納税について、本年より専用サイトの窓口を5つから8つに増やし目標額を3億円と設定されていますが、自主財源の乏しい本町にとっては重要な財源であり、住民福祉の向上に還元できるよう目標達成に向け全力で取り組むこと。

次に歳出でありますが、

- ・くらし支援課における窓口業務について、婚姻届や出生届、転入届での来客者に対して、記念品を贈呈するなど長寿と子宝のまちとしてのおもてなしができないか検討すること。

- ・光伝送路施設保守委託料について、1月24日から2月1日にかけて発生したインターネット接続障害は、島内全域において多大な影響を及ぼしたことから、同様な事案が二度と発生しないよう再発防止に努めるとともに、第2ルートの確保も検討されること。

- ・徳之島自動車学校法定講習補助金に関する予算措置のあり方については、疑義が生じる部分もあり今後は適切な形での予算編成に努めること。

- ・合併浄化槽設置補助金については、申請される住民が年度内での工事完了がスムーズに行えるよう年度当初による申請の早期推奨を行うとともに町内設置業者の周知に努めること。

- ・産科医確保支援事業補助金について、その重要性は認識の上であります。現在不足している小児科医確保に対する予算措置にも充てられるよう柔軟な予算のあり方を検討すること。

- ・徳之島愛ランド広域連合負担金については、基幹改良工事も目前に

迫っていることから、各町においては更なるごみの減量化が求められています。各町がしっかりと認識し、危機感を持って取り組んでいくためにも、是非三町負担金を人口割から実績割へ改正されるよう強く要望します。

- ・農業委員会については、令和4年度より国及び県の指導により毎月の活動報告の義務化やタブレット端末による農地の情報収集作業など以前に増して業務量が増えたとの意見があり、今後農業委員のなりて不足等が生じないよう業務量に応じた委員報酬の見直しを検討すること。

- ・経済課所管については、施政方針に掲げられた「農業生産額60億円を目標」に向けた取組みとして各分野において予算計上されていました。中でも畜産振興費の優良素牛保留補助金についてはこれまでの1農家上限2頭から3頭への引き上げがされ、優良素牛の増頭支援拡充が図られており、更なる畜産振興発展に期待が持てるものだと感じられます。しかし農業振興においては、さとうきびをはじめ、園芸、果樹、漁業分野に対してもしっかりとした支援を行い、特に味の素AGF(株)との共同事業である徳之島コーヒー生産プロジェクトに関しては、観光農業をメインに本町でのコーヒー栽培が産業として確立できるよ

う支援を行うこと。

・各種教科検定料補助について、英語検定や漢字検定、数学検定費のみならず、検定に向けた学力向上のサポートに手厚い支援を行うこと。

・給食センター運営費について、同施設は築50年以上が経過し耐用年数も過ぎていることから、これまでも多く議論されてきており、衛生面や子どもたちへ安心安全な給食を提供するためにも早急な建て替えを検討すること。また、同施設が現在の場所に建設された経緯を考慮し、新設においても現敷地を最優先に検討すること。

以上が、主な事項であり指摘された事項については真摯に受け止め尽力されるよう申し添えます。

審査の結果、令和5年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算は原案可決すべきものと決定いたしました。また、令和3年度決算審査における委員長報告にて指摘した事項についても各部局において対応されているようであり、引き続き町政発展に向け取り組んでいただきたいと思います。

以上、当委員会に付託されました、「令和5年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算」についての審査結果の報告といたします。

令和5年3月15日 令和5年度当初予算審査特別委員長 佐田 元